

「お互いさま」のまちづくり



光友会お助け隊



形原一区 お助け隊・まめだ会

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増え、ごみ出しや電球の交換など日常生活でのちょっとした困りごとを抱える人が増えています。本格的な高齢化社会を迎えるこの先、介護の専門職や行政だけですべてに対応することは困難です。そこで重要になってくるのが“地域での支え合い”です。今号では、本市における取り組みを紹介します。

生活支援コーディネーター

高齢者の生活を支援する体制づくりや社会参加の支援を行います。地域の福祉活動に詳しい、社会福祉協議会の社会福祉士や保健師などが活躍しています。



『できることから始めよう』

生活支援コーディネーター 杉田 昌久

地域での支え合いと言うと大変なことと思われがちですが、隣に住む高齢者のごみをごみステーションまで一緒に運んであげたり、声かけやあいさつをして見守ったり、ちょっとしたことの積み重ねが地域での支え合いにつながります。また、誰かのために行動することで、自分自身もやりがいを感じることができます。

一人ひとりが、できることを、できる時に、できる範囲で始めることが、大きな地域の力になるのではないのでしょうか。